

## 長浜市で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました

雪氷チーム

平成24年12月4日に、滋賀県長浜市で「雪崩災害防止セミナー」を雪崩災害防止功労者表彰式(主催：国土交通省)とともに開催しました(写真-1)。

本セミナーと表彰式は、毎年12月1日から7日に国土交通省が実施している「雪崩防災週間」に合わせて行っているもので、雪崩災害防止セミナーは最近の雪崩災害の特徴と対策等について理解を深めてもらうことを目的として、寒地土木研究所雪氷チームとつくば中央研究所雪崩・地すべり研究センターが共同で企画し、雪崩の発生する地域がある行政機関の協力を得て開催しています。

本セミナーの概要は表-1のとおりです。今回のセミナーには、県や市等行政機関の技術者のほか、警察や消防、建設業及びコンサルタントから約80名のご参加をいただきました。

はじめに、新潟大学災害・復興科学研究所教授の和泉薫氏から「滋賀県における雪崩災害と雪氷利用の歴史」をテーマに講演をいただきました。この中で、滋賀県の地理的条件による気象の特徴、江戸時代など古くから雪崩災害が起きていたことや近年の雪氷災害の状況についての説明をいただきました。また、滋賀県での雪氷利用の歴史について、時の権力者も雪を保存し利用してきた歴史等をお話いただきました。

次に、土木研究所からの話題提供として、寒地土木研究所雪氷チーム上席研究員の松澤から雪崩の分類とその分類毎の雪崩発生機構、注意が必要な気象条件や

注意箇所の地形・植生等の具体的条件、雪崩パトロール時の着眼点について解説しました。

雪崩・地すべり研究センター主任研究員の伊東からは、信越地方を中心とした近年の雪崩事例について、被災状況や雪崩の発生状況について説明し、地域における雪崩対策の課題を報告しました。

最後に雪氷チーム研究員の松下から道路における雪崩対策について解説し、雪崩の発生区、走路、堆積区それぞれに適用する雪崩対策施設の種類や課題、留意点を説明しました。また、対策施設を設置するだけでなく、積雪期における斜面状況の観察や気象観測データ等の情報活用、設置した施設の機能を保持するための点検・修繕等維持管理を無雪期や積雪期に行う等、管理による雪崩対策も重要であることを説明しました。

本セミナーでは参加者にアンケート調査を実施しており、「雪崩への理解が深まった」や「今後の雪崩対策の参考にしたい」など、好意的な回答をいただきました。今後も雪氷チームでは、雪崩・地すべり研究センターと連携して、研究成果の普及を目的とした、技術の紹介のためのセミナー及び講習会を積極的に開催していきたいと考えています。

本セミナーの開催にあたり御協力をいただいた滋賀県庁はじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

(文責：笠村 繁幸)

表-1 「雪崩災害防止セミナー」の概要

開催日時：	平成24年12月4日(火) 13:45~16:20
開催場所：	勤労者福祉会館(長浜市港町4-9)
開催機関：	(主催) (独)土木研究所 (共催) 滋賀県、滋賀県砂防協会 (後援) 国土交通省 近畿地方整備局
講演	「滋賀県における雪崩災害と雪氷利用の歴史」 新潟大学 災害・復興科学研究所 教授 和泉薫氏
話題提供	「雪崩に関する基礎知識」 寒地土木研究所 雪氷チーム 上席研究員 松澤勝 「信越地方を中心とした最近の雪崩事例について」 雪崩・地すべり研究センター 主任研究員 伊東靖彦 「道路雪崩対策の課題と研究への取り組み」 寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 松下拓樹



写真-1 雪崩災害防止セミナーの開催状況